

# 野津原地域まちづくりビジョン 概要

## 1. 地域まちづくりビジョンとは

わが国は、急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎える中、大分市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域の活力維持や地域コミュニティの希薄化など、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題解決のためには、行政が地域の実情や意向等を的確に把握し、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、地域の活力維持・増進を図ることを目的として、市内13地域において、各地域の代表者で構成する「地域ビジョン会議」を設置し、それぞれの地域の現状と課題などの議論を行い、地域のまちづくりを進めるうえでの将来像である「地域まちづくりビジョン」を策定しました。

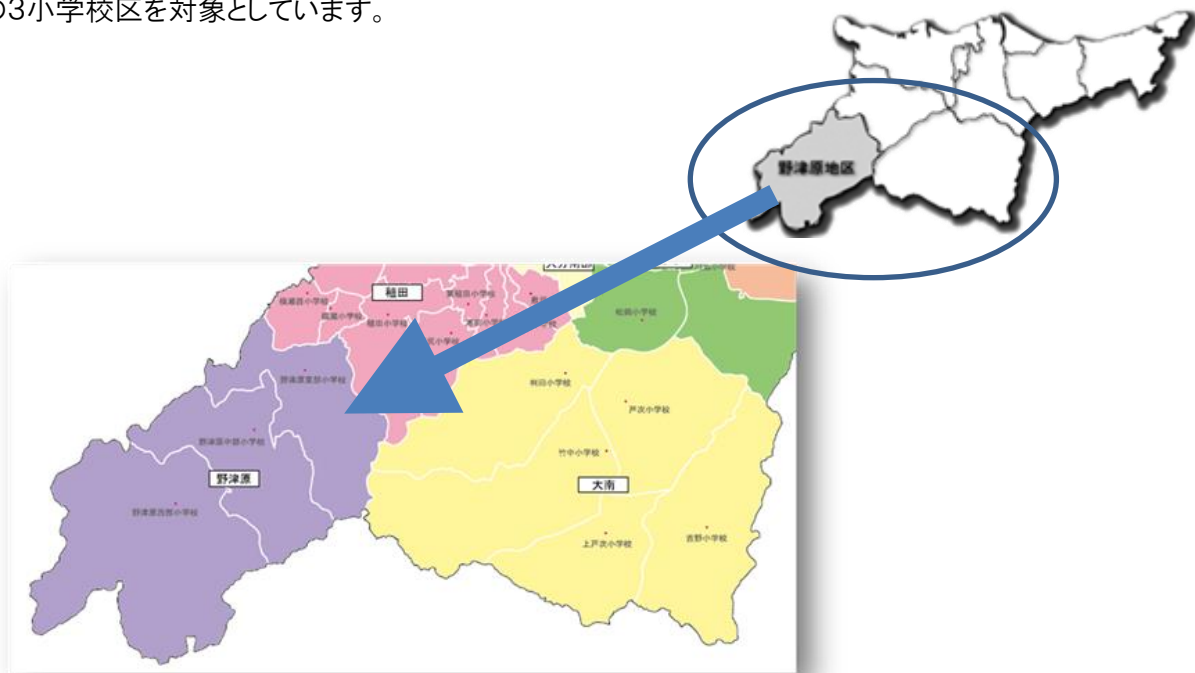
なお、本ビジョンは、野津原地域ビジョン会議で取りまとめました「野津原地域まちづくりビジョン」について、大分市長に提言します。

### 市内13地域における地域ビジョン会議

大分中央地域	大分東部地域	大分西部地域
大分南部地域	南大分地域	鶴崎地域
大南地域	植田地域	大在地域
坂ノ市地域	佐賀関地域	<b>野津原地域</b>
明野地域		

## 2. 野津原地域の対象校区

野津原地域まちづくりビジョンは、旧野津原東部小学校、旧野津原中部小学校、旧野津原西部小学校の3小学校区を対象としています。



## 3. 野津原地域まちづくりビジョンの概要

野津原地域まちづくりビジョン

未来像  
ダムに夢を 森といやし の里 ななせ

野津原地域ビジョン会議  
平成30年7月

<p><b>第1章 地域の特性</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地理的特性と位置付け</li> <li>2 歴史的・文化的特性</li> </ol> <p><b>第2章 地域の現状、市の施策</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 土地利用の状況</li> <li>2 産業・住民交流</li> <li>3 地域内の公共施設</li> <li>4 指定避難所</li> <li>5 市民との協働によるまちづくりの取組</li> </ol> <p><b>第3章 人口推移と将来推計</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 大分市の人口推移と将来推計</li> <li>2 野津原地域の人口推移と将来推計</li> <li>3 大分市の人口ビジョン</li> </ol>	<p><b>第4章 地域の分析</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 SWOTによる地域の分析</li> <li>2 野津原地域の整理図</li> </ol> <p><b>第5章 地域のあるべき姿</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域の将来に向けた魅力や課題</li> <li>2 野津原地域の将来像(コンセプト)</li> </ol> <p><b>第6章 将来像実現に向けた取組</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 これからのまちづくりに向けた市長への提言</li> <li>2 提言に基づく提案事業一覧</li> <li>3 まちづくりの役割分担</li> <li>4 提案事業の整理図(地図)</li> </ol>
--	--

地域ビジョン会議の中では、野津原地域の将来に向けた魅力・課題の整理を行い、地域のさらなる発展のために、地域のあるべき姿(将来像)を設定し、その実現に向けた事業の提案や役割分担を行いました。

### 3-1. 地域の将来に向けた魅力・課題

#### 野津原地域が誇る魅力

1. 大分川ダムと地域振興施設
2. 豊かな自然環境と季節の食材
3. 豊富な歴史的文化財

#### 野津原地域が抱える課題

1. 地域コミュニティの希薄化
2. 急速な過疎化

### 3-2. 野津原地域の将来像(コンセプト)

## ダムに夢を 森といやしの里 ななせ

#### 将来像への思い

高齢化に伴い、高齢者福祉の充実が必要という意見や学校統廃合後の教育環境の問題、基幹産業の農林業の振興、国道442号拡幅問題などの地域課題が山積しています。「大分川ダム」や「道の駅」の完成を機に、自然豊かな野津原をPRし、明るいまちづくりをイメージしてこのコンセプトとしています。

# 野津原地域まちづくりビジョン 概要

## 3-3. これからのまちづくりに向けた市長への提言

今後、わたしたち市民が描く地域の将来像の実現に向けて、これからのまちづくりに重要となる取組について提言します。

### 提言1: 大分川ダムを核とした地域振興

豊かな自然環境に囲まれた大分川ダムは、野津原地域最大のインフラとしてその魅力を最大限に活用していく必要があります。今後、道の駅登録を目指す「交流拠点」や、野外音楽ステージを設置した多目的広場などとのハード間での連携を軸に、マラソンなどの各種スポーツイベントなど、地域に人を呼ぶ仕掛けづくりについての支援を望みます。

### 提言2: 地域コミュニティの維持・活性化

学校の統廃合をはじめ、脆弱な通信網や公共交通の不便などにより、コミュニティの希薄化が進行するとともに、若者の移住・定住の意欲低下が危惧されます。急速に進む高齢化に歯止めをかけるため、希薄化するコミュニティの維持・活性化を図るための場の創出や、若者を地域に呼び込む取組を望みます。

### 提言3: 豊かな自然・文化財を活かした観光の振興

大分川ダムのほか、野津原にある、美しい自然や景観、地域の伝統文化、豊かな食材等、地域の観光資源を活かしたイベントや名産品の開発等を支援することなどにより、魅力あふれる観光地域づくりの推進を望みます。

## 3-4. 提言に基づく提案事業(役割分担を含む)の一覧

将来像の実現に向けて、前段で3つの項目について提言しました。また、その提言に基づく具体的な提案事業(役割分担を含む)についても検討を行い、下記のとおりまとめました。

No.1	大分川ダムを核とした地域振興		
事業名	国道442号の朝地までの拡幅		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ダムや交流拠点の建設に伴い、国道442号を拡幅し交流人口の増加を図る。</li> <li>○ 地域においても期成会活動を県に対し引き続き実施する。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	・旧野津原町の頃よりの要望です。熊本、大分間の幹線道路として時間の短縮。拡幅する事によって、観光の拡大。ダム等	・地域での要望	・地域の要望を県、国に頼む

No.2	大分川ダムを核とした地域振興		
事業名	スポーツを通じたまちづくり事業		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時の避難所としても利用できる総合体育館を新設する。</li> <li>○ スポーツを通じて人を呼び込み、地域を活性化する。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	・住民に必要性を呼びかける	・陳情書を作成する ・署名等	・行政が事業主体となってもらよう働き掛ける。補助事業、単独事業にかかわらず

# 野津原地域まちづくりビジョン 概要

No.3	大分川ダムを核とした地域振興		
事業名	ダムの魅力を活かした地域づくり		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ダムの魅力を活かしたイベント等を周辺で実施し、人を呼び込むまちづくりを推進する。</li> <li>○ 親子で楽しめるイベント(いも掘りなどの収穫体験事業)</li> <li>○ 健康意識を高めるイベント(ウォーキング、マラソン、健康教室、ラジオ体操など)。</li> <li>○ 年間を通して野津原に来てもらえる企画づくり(集客を増やすには健康食品や季節の食材など「食」を絡める必要)。</li> <li>○ 周回道路におけるさまざまな種類の桜の植樹(地域外の人に桜のオーナーになってもらう)、交流拠点での食事や季節の食材の販売などといった観光面での強化を図り、1日中観光客が楽しめる体制をつくる。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族で参加する</li> <li>・運営等の手助け</li> <li>・地元の周辺にも桜を植える</li> <li>・ダム周辺(周回道路)に早く植林するよう呼びかける</li> <li>・健康意識を高める</li> <li>・ニーズの把握</li> <li>・イベントに参加、PR活動、運営への参加</li> <li>・道の駅への農作物の出品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催場所、土地の確保</li> <li>・イベントの企画立案</li> <li>・広報</li> <li>・指導者の確保</li> <li>・桜の木、グランドゴルフ場の管理</li> <li>・マラソン大会運営への参加</li> <li>・すでに地区で取り組んでいる</li> <li>・年間を通じた健康づくり</li> <li>・プロジェクト(実行委員会)</li> <li>・地域の全面的協力(農作物の出品、イベントの参加)</li> <li>・情報の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報</li> <li>・活動費の助成</li> <li>・グランドゴルフの県体や市の大会など</li> <li>・大きな大会が開催できるよう関係者に要請してもらう</li> <li>・国交省や市に桜の苗木を早く提供してもらう</li> <li>・地域と連携した取組になるよう、プロジェクトに行政も参画</li> <li>・施設運営に関し民間のノウハウ活用</li> <li>・各種イベントへの助成</li> <li>・旅行業者及び観光協会との連携</li> </ul>

No.4	地域コミュニティの維持・活性化		
事業名	小学校跡地の利活用(中部・西部・今市)		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校跡地を地域の交流の場として利活用する。</li> <li>○ 小中学生と地域とのふれあい活動を実施(校舎は校区公民館として利用)。</li> <li>○ 野津原の多世代交流の促進(子どもから高齢者まで参加できる料理コンテストを実施し、野津原の季節の食材を使った料理やお菓子、我が家自慢のお漬物などを競い合う。優勝作品は交流拠点で販売し、SNSなどで地域外へもPR)</li> <li>○ 宿泊できる施設として整備を行い、ダム周辺施設と連携し、地域の活性化を図る。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に無農薬野菜や果樹等の植え付け及び管理が出来、又地域の方々とのコミュニケーションを取り連帯の和を広げる</li> <li>・知人にPR</li> <li>・行事に参加(イベントに参加)</li> <li>・イベントの企画立案</li> <li>・運営に参加</li> <li>・自分の子どもに参加させる</li> <li>・地域の方々に発信、参加を促す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の植え付け等の講義を開き、作業等をマニュアル化して各地域とのコミュニケーションを取り、情報等を共有する</li> <li>・一般公募</li> <li>・運営委員の確保</li> <li>・運営人材の確保</li> <li>・広報・食材の提供</li> <li>・イベントの企画立案</li> <li>・広報</li> <li>・開催場所の提供</li> <li>・自治会や子ども会などで連携し運営体制をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師派遣の支援</li> <li>・インターネットを含む通信の整備</li> <li>・施設の確保と支援</li> <li>・広報(野津原地域外含む)</li> <li>・運営委員会の会場提供</li> <li>・イベントの共催</li> <li>・施設整備・活動費の助成</li> <li>・イベントの内容によっては講師派遣などの支援</li> </ul>

No.5	地域コミュニティの維持・活性化		
事業名	助け合いを実現するやさしい地域づくり		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な分野のボランティア人材バンク制度の創設</li> <li>○ 野津原の優れた人、物を繋げるコーディネーターの発掘・育成</li> <li>○ 一人暮らし高齢者などに対する支援(交通・ブロードバンドなど)の充実</li> <li>○ まちづくりを推進する多様な組織、団体の構築・支援</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材を見つける</li> <li>・情報の提供</li> <li>・自分ができる分野に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者を募る</li> <li>・協力し合う気持ちづくり(呼びかけ)</li> <li>・掲示板や回覧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バンク(人材)づくり</li> <li>・地域間の情報格差を是正するための整備</li> <li>・掲示板設置の費用負担</li> </ul>

# 野津原地域まちづくりビジョン 概要

3-5. 提案事業の整理図(地図)

No.6	豊かな自然・文化財を活かした観光の振興		
事業名	観光農園の開発促進事業		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ぶどう、いちごなどの観光農園や、商品の開発(地域資源を利用)</li> <li>○ 野津原の一村一品を観光に活かす(にら、いちご、豊の七瀬柿、しいたけ、豊後牛など)。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	・参加の働きかけ	・周辺の美化活動	・農園の整備、情報発信

No.7	豊かな自然・文化財を活かした観光の振興		
事業名	野津原の桜の名所×ウォーキング×(桜の)特産物		
内容	○ 桜を活かした野津原の特産物の開発や、バスやウォーキング、マラソンなどで、野津原を巡るイベントを実施する。		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野津原の桜の名所を確認</li> <li>・桜を知る、種類、地域、イベント、勉強する</li> <li>・イベントの参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で桜の特産物を作る</li> <li>・ウォーキング大会を定着させる</li> <li>・ウォーキング実行委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と地域が連携</li> <li>・予算や広報</li> <li>・財政的支援</li> </ul>

No.8	豊かな自然・文化財を活かした観光の振興		
事業名	ふるさとの旧跡・民話めぐりガイド事業		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学生にボランティアガイドとして野津原の旧跡をガイドしてもらう(教育機関との連携)。</li> <li>○ 伝統文化を継承し、地域への愛情と誇りを育むのと同時に、SNSなどで地域資源の情報発信をする。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧跡巡りをして知識をつける</li> <li>・知っている知識をみんなに広げる</li> <li>・旧跡や民話に関する人材の発掘</li> <li>・ガイドスキルの取得</li> <li>・ガイドとして参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修用の資料の作成</li> <li>・旧跡巡りのルートを考案する</li> <li>・既存の伝統文化団体との連携</li> <li>・定期的に勉強会の開催</li> <li>・データベースの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページで活動の紹介</li> <li>・活動の支援と活動費の助成</li> <li>・教育機関との調整連携</li> <li>・ボランティアの募集</li> <li>・情報発信</li> </ul>

